

2026年（令和8年）3月23日  
公立大学法人福山市立大学理事長選考会議

### 理事長の業績評価の結果について

公立大学法人福山市立大学理事長業績評価規程（令和6年法人規程第5号）の規定に基づき、公立大学法人福山市立大学理事長選考会議において、佐藤利行理事長（以下「理事長」という。）の業績評価を実施したので、同規程第6条第2項の規定により、その結果を公表します。

#### 1 評価対象期間

2025年度（令和7年度）

#### 2 実施方法

- (1) 理事長が作成した自己評価書の確認
- (2) 理事長へのヒアリング

#### 3 評価結果

別紙のとおり

#### 4 経過

日程		会議	概要
2025年 (令和7年)	11月26日（水）	第3回会議	評価手順・方法の確認
2026年 (令和8年)	1月26日（月）	第4回会議	理事長へのヒアリング ヒアリング結果に関する意見交換
	2月27日（金）	第5回会議 (書面開催)	評価結果の審議
	3月19日（木）	第6回会議	評価結果の決定

公立大学法人福山市立大学 理事長業績評価  
2025年度（令和7年度）業績  
評価結果書

総合評価	B：良好な業績である
------	------------

〔評価段階〕

S：特筆すべき顕著な業績である      A：優れた業績である      B：良好な業績である  
C：不十分な業績である              D：重大な改善事項がある

評価の理由など

評価に際しては、理事長兼学長（以下「理事長」という。）が法人・大学の最高責任者として職務を適切に遂行しているかどうかに加え、前年度の評価結果における指摘事項等の対応状況について確認を行い、法人・大学のガバナンス・マネジメントの改善や質的向上につながるものとなるよう留意した。

**1 教育／研究／地域貢献**

新学部設置の準備、共通教育科目の見直し、外部研究資金の獲得、入学者選抜における地域枠導入の決定など、教職員の協力を得ながら取組を着実に進めている。

一方で、「法人評価・認証評価で示された指摘への対応」、「取組の優先順位や規模感等のバランスの見極め」など前年度の指摘事項については、取組が十分でない面も見受けられる。特に国際交流については、本学における教育・研究上の位置付けや目的を明確にし、協定の締結が目的化しないよう配慮した取組の推進を求める。

**2 経営管理**

新棟整備の財源確保に向け、企業訪問やみらい共創基金におけるオンライン寄附の導入等の取組を進めてはいるが、目標額の達成に向けた進捗は芳しくない。経営的観点から、新棟整備に支障が生じないよう、実効性の高い財源確保策を速やかに講じる必要がある。

**3 その他（法人・大学運営、福山市との連携など）**

法人経営と教学運営の調和を図ろうと努力しているが、前年度特に留意するよう求めた「対話の積重ねや合意形成の過程における公正性・誠実性の重視」、「教職員や学生、福山市を始めとするステークホルダーからの理解・信頼」、「教職員の納得感の醸成」について改善に至っていない。教職員に対して大学改革や各取組のビジョンとその進め方を明確に示すとともに、会議等において背景や課題を十分に説明し、意見交換を行う中で丁寧な合意形成を図ることを求める。

総じて、理事長は、人的ネットワークを活用した幅広い情報収集を行うなど、法人・大学運営に尽力しており、全体として良好に職務を遂行している一方で、前年度の評価結果における指摘事項等の対応状況については、改善の余地がある。

次年度は、第一期中期計画の最終年度であり、新学部開設の前年度でもあるなど、福山市立大学にとって極めて重要な年となることから、指摘事項等に留意した上で、万全を期した法人・大学運営を行うことを求める。